西小児童が畑作体験

年４回行われる、農業体験学習の２回目が６月11日に開かれました。前回はジャガイモとネギの植え付けに挑戦しましたが、今回はサツマイモとカボチャの定植を行いました。

はじめに佐々木女性部長から植え方の説明を受け、その後、圃場に移り定植作業に取り組みました。児童たちは説明を受けた通りにサツマイモの苗の葉が土の外に出るよう、気をつけながら植えていきました。その後、カボチャも３人１グループで植え、元気に育つようにと水を掛けていきました。定植作業後は、ジャガイモの芽かき作業も行いました。女性部員から指導を受け、児童らは大きいジャガイモができるようにと一生懸命芽かき作業を行っていました。

感想発表で児童からは「はじめてサツマイモとカボチャを植えた。大きく育ってほしいです」、「植え付け作業や芽かきも頑張った。大変だったけど、この後の収穫がとても楽しみです」と話してくれました。

地元のお米で巻き寿司体験

女性部藤里支部では食農教育活動の一環として、６月20日に藤里小学校の家庭クラブに所属している５、６年生10人を対象に、花型の巻き寿司とハート型の巻き寿司作りを実施しました。同支部では６日にも巻き寿司作りを開き、児童らは海苔の置き方や巻き簾の使い方など基本的な作業を学びました。そして、この日は応用編として児童から要望のあった花型とハート型の巻き寿司作りに挑戦しました。

藤原支部長のほか２人の女性部員が講師役となり手本を見せながら、作業に取りかかりました。花型の巻き寿司は、古代米入りの酢飯で細巻きを５本作り、真ん中に卵焼きを入れ大きな海苔で巻きました。また、ハート型では、桜でんぶを混ぜた酢飯を使い、ハート型の細巻きを大きな海苔で包むように巻きました。ハート型の巻き寿司ではうまくできた児童もいれば、りんごのような丸い形になったり、猫のような形になったりと様々な形になったものの児童らは笑顔で楽しく作業をしていました。